

町に新たな「にぎわい」を ～にぎわいづくり推進本部発足～

町に大きな被害をもたらした熊本地震から、3年9か月が過ぎました。
復旧・復興に道筋が立ちつつある今、
まさに将来を見据えた、町の「にぎわいづくり」に取り組む時です。

復興のシンボルである、県道熊本高森線の拡幅や木山地区の土地区画整理事業。
新たに生まれる街並みを生かし、
町全体のにぎわいにつなげていかなければなりません。

震災前のなんでもない毎日を取り戻す、
未曾有の災害から立ち上がっていく姿を全国の人たちに見せる、
そして、震災があったからこそ、さらなる豊かさを創造していきたいと思っています。

益城町に“関心を持って”、“遊びに来て”、“働いて”もらい、“住んで”もらいたい。
そのためには、商工業、農業、医療・福祉、子育て・教育、文化・スポーツなど、
さまざまな分野の魅力を磨き、創出していく必要があります。

しかし、これらは、行政の力だけでは成し遂げられません。
また、企業、団体だけでできるものでもありません。
全ての町民の皆さんの力を結集し、「オール益城」で取り組んでいきましょう。

